

北星地域の取組について <調査結果まとめ>

1 防災に関すること		2 地域連携に関すること		3 地域福祉に関すること		4 その他 (1～3以外に新たに取組みたいことなど)	
※まちづくり推進プログラム【地域の課題】 ・自主防災組織の充実や防災意識の向上		※まちづくり推進プログラム【地域の課題】 ・世代間交流の機会減少、北の散歩道の魅力度向上		※まちづくり推進プログラム【地域の課題】 ・高齢者の生活支援体制の充実			
今後取組みたいこと	取組みたい理由	今後取組みたいこと	取組みたい理由	今後取組みたいこと	取組みたい理由	今後取組みたいこと	取組みたい理由
防災マップを活用して地域内避難場所の確認。	マップで場所確認できても歩いての時間確認、障害物等の確認。	地域の小学生～高校生も一緒に参加できる企画を計画したいです。イベント実施が厳しければ計画まででも・・・	多世代交流が地域の活性化につながるため。	高齢者が楽しめるイベント。	コロナでワクチン接種が進みましたので、お茶とおやつでおしゃべりタイム。 (会話をすることで元気を取り戻せる)		
地域の小売店や、会社等の協力を得て「洪水になったらここまで水が来ます」の看板を設置できないでしょうか？	地域住民が目に見える形で防災に関する目安に触れられれば意識も高まると思います。			今年度はいよいよ冊子で社会資源マップの発行でしょうか。中々効果を検証できないので、発行に至るまでの過程で様々な方を巻き込みたいです。			
エリア内の高齢者世帯チェック。	町内会にも加入せず、エリア内に居住している高齢者世帯もあり、状況を把握し情報を共有したい。						
		コロナ禍で「みんなで集まって何かに取り組む」ことは難しいと思います。					
防災フェアは実施したい。	コロナなどの状況もあり、避難所での対策の方法や、非常持ち出しに必要な物品などを聞きたいです。	腐葉土作りの継続と活用を具体的にしていきたい。	教育大、大有小、児童館などと、畑作りなどをしていきたい。 (今年はもう遅いですが・・・)	通信の改定や補足。		まち協主催の講演会など・・・(福祉、特殊詐欺、防災、健康など)	
災害を分かりやすく伝えたビデオ(映画)による防災教育。	ハザードマップだけでは、重要性がなかなか伝わらない。	①腐葉土づくりを日常化するための地域づくりへの取組。 ②北星地区フリーマーケット。(輪番制)	①腐葉土づくりが一過性となってしまうのでは、取り組んだ意味がない。 ②リサイクルによって環境対策になることと、地域の交流にすることができる。	健康寿命を伸ばす取組の紹介。(リスト)	・スポーツ ・医療 ・食生活 ・文化	学校施設開放事業の研究調査(体育館以外の施設)	・少子化で学校の教室が余ってきている。 ・地域で活用したい団体があるのではないかと。 ・世代間交流も可能となるのではないかと。
<これまでの取組> H30 防災フェア(北星, 旭星, 川端) 開催 R1 防災フェア(旭星西, 近文東, 近文西)開催 R2 「北星6地区洪水ハザードマップ」発行		<これまでの取組> H30 腐葉土づくり勉強会, 腐葉土づくりの実施 R1 腐葉土づくり, 交流イベント「秋をたのしむ会」実施 R2 腐葉土づくり, 樹名板贈呈式・設置、草木染め(大有小学校)実施		<これまでの取組> R2 高齢者の暮らしに役立つサービス等をまとめたチラシ「高齢者にやさしいお役に立つ福祉のまち通信」発行			